

## 第5節 3日目：2月22日（土）：由布院～小野屋 曇り／晴れ

2025年2月22日（土）曇り／晴れ、久大本線の旅の三日目は、由布院駅から小野屋駅までの20.5kmに挑戦する。本日はホテルで朝食をとり臨む。昨日は豊後森駅6時4分発であったので、由布院までの区間は暗闇であったが、本日は豊後森駅を7時57分であったので、沿線の道筋を車窓から確認できた。恵良駅で上り列車と離合する。昨日悪銭苦闘した道筋も随所に登場し感無量となる。そのようなことを考えながらいるうちに、由布院駅に到着する。今日はリュックを背負っての歩きとなる。



※ホテルから豊後森駅までの道筋



※豊後森駅



※由布院駅

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

由布院(8:35)～南由布(9:40)～湯平(11:40)～庄内(13:07)～天神山(14:15)～小野屋(14:45)

①昨日と同様、由布院駅も種々のアングルで撮影後、南由布駅を目指す。駅前には沢山の観光客で一杯だった。8時45分、山水館前を通過。8時48分、御幸橋を渡る。9時7分、御霊社前で本日の安全を祈願する。くねくねした路地を歩き、9時8分、急な坂道を上り、国道210号線に合流する。9時10分、ゆふいん幼稚園があった。その近くに天神宮があった。ここでも安全祈願する。9時38分。南由布郵便局前を通過。南由布駅には9時40分に到着する。



※由布院駅界限



※山水館、御幸橋



※御霊社、天神宮



※南由布駅

②9時45分、天満宮前を通過。9時52分、国道210号線に合流する。74歩ある大分川を渡る。9時56分、前徳野という地名を通過。10時3分、久留米から96.5km地点を通過。9時5分、75歩ある大分川を渡る。日田方面に向けて2両編成の列車が通過して行く。10時7分、線路下を潜り鉄道の左側となる。10時13分、久留米から97km地点で、大分方面の特急が通過して行く。その先で高校生位の3名の自転車野郎と対面する。風冷たし。10時34分、網代バス停前（ユーバス：由布市コミュニティバス）を通過。10時41分、小さな粉雪を感じる。10時50分、中畑バス停前を通過。10時55分、久留米から100km地点を通過。10時58分、大分31km、佐伯89km地点を通過。11時15分、粉雪がやみ晴れマークとなる。11時30分、国道210号線を離れ、枝道に入る。11時33分、トンネルから出た線路を跨ぎ、鉄道の左側となる。11時40分、下川簡易郵便局と一体となった湯平駅には11時40分到着する。



※湯平駅への路



※湯平駅

③急な坂を上り、国道 210 号線に戻る。その坂の途中で繋がれ犬と対面する。12 時、坂を上ると鍋倉橋（鍋倉川）だった。ここから下り坂を駆け降りる。前方に故郷で見ながら育った白山（円錐型）と対面する。12 時 7 分、庄内町の標識がある。この境界の温度は 7℃とあった。12 時 35 分、再度粉雪と幻想的な環境に対面する。12 時 43 分、佐伯 78 km、大分 31 kmと記した道路標識前を通過。12 時 40 分、下り坂が続く道筋の中、粉雪は止み晴れマークとなる。庄内駅まで 1.2 kmとの標識を目にする。前方に道路を横切る大分方面に向かう特急と対面する。12 時 47 分、国道 210 号線から分岐する道路を歩く。13 時、小原（おはら）踏切を横切り、JR 線の右側となる。その先に庄内駅（13 時 7 分）があった。この駅には職員がいた。





※庄内駅への路



※庄内駅

④13時20分、深谷（ふかたに）踏切を横切り、JR線の左側となる。13時26分、52歩ある深谷橋（深谷川）を渡る。13時28分、由布市立西庄内小学校前を通過。13時53分、農協踏切を横切り、鉄道の右側となる。13時56分、庄内郵便局前を通過。14時1分、出雲大社由布教会があった。天神山駅には14時15分到着する。この駅に少し滞在していると、大分行ききの2両編成の列車（14時18分）と対面する。



※天神山駅への路



※天神山駅

⑤14時21分、元庄内公民館前を通過。14時27分、小野屋橋（小狭間川）を渡る。国道210号線から分岐したくねくねした坂道を上った先に小野屋駅（14時45分）があった。万歩計は39,274歩となっていた。この駅には大船山の看板があった。この駅で

15時46分の列車まで1時間の待ち時間となる。この待ち時間の間、上り下りの特急が通過して行く。



※小野屋駅への路



※小野屋駅

⑥15時46分、大分行きと由布院行きの列車がやって来る。車窓から明日踏破する道筋を点検しながら大分駅に向かうとするが、残念ながらとうとうその点検が水泡にきず。懐かしい東横イン大分駅前には16時45分到着。汗を流した後、JR大分駅ビルに面した4階にある利久で牛たんを頂く。この店で今日も飲みたかったが休肝日とし、体をいたわる。でも、充実した一日であった。



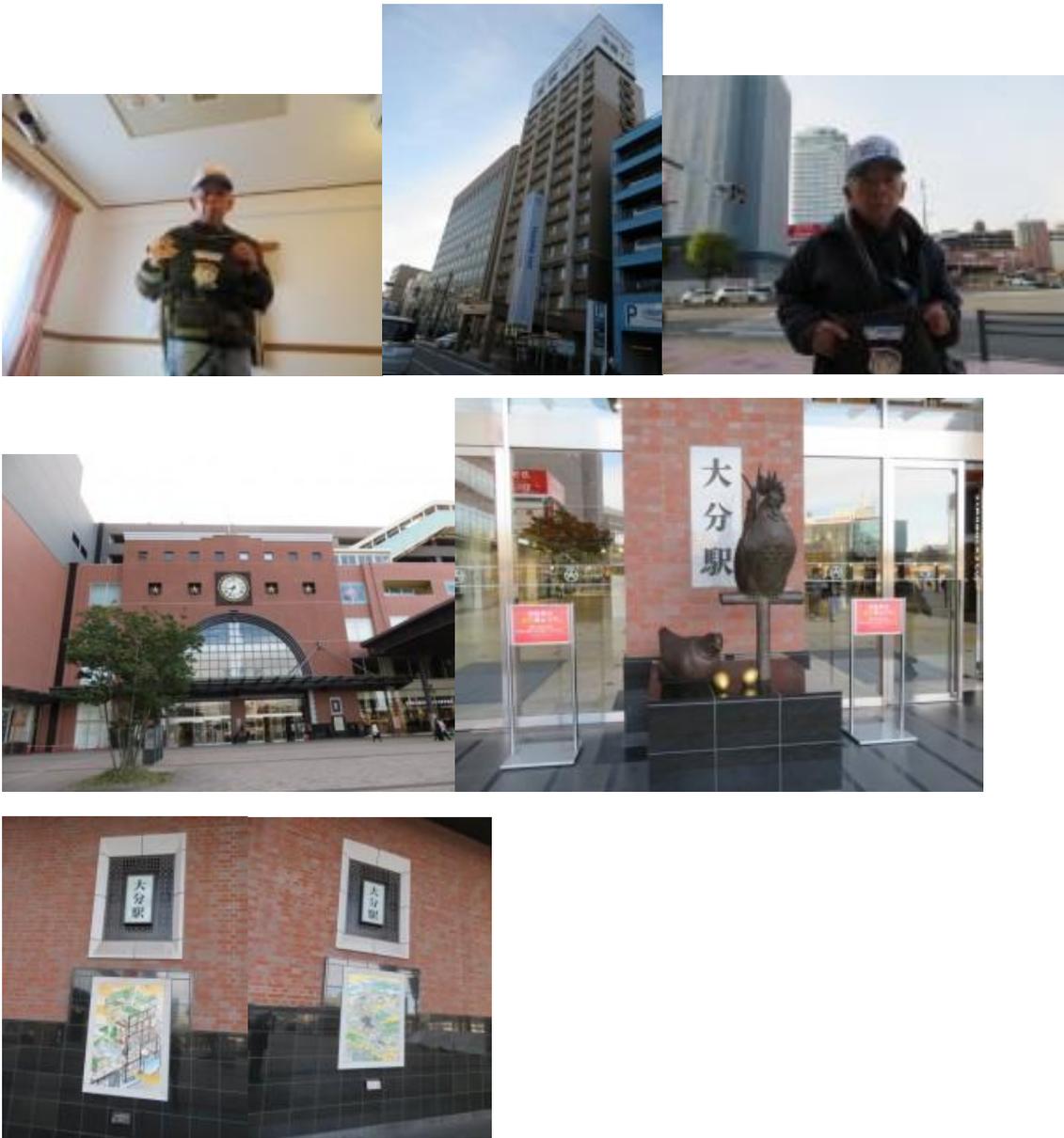
※懐かしいソネット号と大分駅（北口）



※利久で夕食

## 第6節 4日目：2月23日（日）：小野屋～大分 晴れ

2025年2月23日（日）晴れ、久大本線の旅の四日目は、小野屋駅から大分駅までの21.9 kmに挑戦する。本日は今回の旅で大分発9時であったので、朝食もゆっくりとり臨むことができた。記憶の限り最も遅い時間からのスタートだろう。すなわち、平坦なコースであり、かつ終点が大分駅であったため時間に追われることなく歩けたからである。



※ホテルから大分駅北口へ



※大分駅から小野屋駅へ



※小野屋駅

各駅舎到着時刻は次の通り。

小野屋(9:44)～鬼瀬(11:04)～向之原(11:56)～豊後国分(13:12)～賀来(14:09)～南大分(15:00)～古国府(15:55)～大分(16:51)

①鉄道に沿った道筋を歩く。当初は、反対方向に出て引き返すことを想定していたが、駅前にやって来た車が、進行方向に進んでいるのを見て、何れ国道210号線に繋がると思い前進する。運よく対面した方に、「この道を直進して国道210号線に合流できるか否か」をお伺いする。結果できるとのことで直進する。なお、小野屋駅と国道210号線の高低差は15m位はあったと思われる。9時54分、210号線に無事合流できる。9時55分、五福バス停(ユーバス)を通過。今日は穏やかな日とで、寒さは全

く感じず。10時3分、久留米から114 km地点に到達。近くに長宝団地入口バス停があった。10時22分より、万歩計に122歩ある櫟木（いちき）トンネルを通過する。10時37分より大分川を渡る。10時40分、大分21 km、佐伯68 kmと記した道路標識前を通過。10時51分、挾間（はさま）町に入る。郵便番号簿で調べたところ、由布市は、挾間町、庄内町、湯布院町と合併して誕生したと推察される。鬼瀬駅には11時4分に到着する。



※鬼が瀬駅への路



※鬼瀬駅

②11時16分、久留米から118 km地点に到達。11時18分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。11時45分、国道210号線から分岐する枝道に入る。くねくねと路地を歩いた先に向之原駅（むかいのはる、11時56分）があった。この駅から少し歩いた先に12時のサイレンとして童謡が聞こえて来る。残念ながら曲名は分からず。



※向之原駅への路



※向之原駅

③12時6分、若宮踏切を横切り、鉄道の右側となる。12時6分、左手にJR線、右手に大分川があった。2015年6月歩いた宗谷本線の北星駅から日進駅まで区間を思い出した。あの時は左手山間には宗谷本線、右手には天塩川が横たわっていた。熊でも出没するような環境であった。それに比べれば易しい環境であった。前方に故郷で見かけたような山（白山、屋島、八栗）が登場する。12時31分、由布市から大分市となる。12時39分、平横瀬踏切を横切り、鉄道の左側となる。12時40分、今歩いている道路は、県道207号線（大分挟間線）大分市平瀬町とあった。遠くに大分市の街並みが見えて来る。12時45分、道路上に天満宮があった。12時50分、遠くに街並みがあり、線路傍に見頃な梅がある風景をデジカメに収納する。13時、ジョギングしている方が私を追い越して行く。この辺りから町らしくなる。13時5分、300m位先に豊後国分駅が見えてくる。枝道に入り、近道を目指すのが、残念ながら行き止まりとなる。3分位のロスタイムで戻り、幹線道路を歩いた先に豊後国分駅（13時12分）があった。大分に向けて、特急が通過して行く。



※向井原駅界限、豊後国分駅への路



※遠くに梅と民家



※豊後国分駅近し



※豊後国分駅

④13時20分、3分位要し幹線道路に戻る。鉄道は道路に沿って下にあった。13時35分、今歩いている道路は県道207号とあった。地名は大分市田向とあった。13時41分、支所前踏切を横切り、鉄道の右側となる。12時45分、遠くに由布岳が見えて来る。13時55分、153歩ある賀来川を渡る。高校生位の自転車野郎と対面する。14時8分、高速下を潜る。賀来駅（かく）には14時9分到着する。



※賀来駅への路



※賀来駅

⑤14時12分、餅田踏切を横切り鉄道の左側となる。14時28分、赤色の大明社前を通過。14時47分、今歩いている道路は県道601号線（小狭間大分線）で、この辺りの地名は大分市永興（りょうご）とあった。南大分駅は道路に沿ってあるにもかかわらず通り過ぎる。2016年6月歩いた函館本線の石谷駅を思い出し、懐かしくなる。この駅も目の前にあったにも関わらず通り過ぎたことを。14時54分、南大分構内踏切を横切り、鉄道の右側となり、住宅地を一周して、やっと南大分駅に15時到達できる。この駅には駅員がいた。この駅の踏破を通じ、踏破に易しい駅舎程、得てして行き過ぎる可能性があるなあと。このような苦い体験は何度もしたので。



南大分駅への路（踏切を横切ったのは失敗だった）



※南大分駅

⑥15時7分、南大分駅踏破でエネルギーを使ったのか熱くなり、上着を脱ぐ。15時14分、永興踏切を横切り、鉄道の右側となる。ここからナビを検索しながら歩く。寒くなって来たので、15時26分、上着を着る。15時30分、幹線道路を左折し、鉄道に向かって歩く。15時48分、鉄道にぶつかる。ここから鉄道に沿って歩く。古国府（ふるごう）駅には15時55分に到着する。





※古国府駅への路



※古国府駅

⑦鉄道の右側を歩く。16時10分、高良社前を通過。16時15分、薬師堂前を通過。16時19分、元町バス停（大分バス）前を通過。この辺りから久大本線は高架となる。右手にHIヒロセのスパー前を通過。16時28分、久大本線下を潜る。16時40分、豊肥本線（熊本～大分：営業キロ148.0km：一部電化）も合流した日豊本線（小倉～鹿児島：462.6km：電化）は、16時40分、久大本線（久留米～大分：462.6km；非電化）とも合流する。なお、豊肥本線は、熊本～肥後大津（22.6km）のみが電化でその他の区間は非電化とのことであった。久大本線が踏破すれば、是非とも豊肥本線に挑戦したいものだと夢膨らむ。16時39分、全国健康保険協会大分支部前を通過。大分駅南口には16時51分に到着する。大分駅は北口の方がメインである感じた。万歩計は44,308歩となっていた。



※大分駅への路



※大分駅南口

⑧17時7分、駅構内の観光案内所に立ち寄り、山の名前について確認する。屋島のような山が万年山、切り株のような山が伐株山であると確認する。由布院駅から見える山は由布岳だと教えて頂く。



※大分駅構内

⑨ホテルに戻り、汗を流した後、寿し”まどか”で英気を養う。ホテルに帰るや否やバタンキューとなる。

